

## 今月号の表紙

### ダイダラボッチの由来



井関地区の代田集落の入り口で睨みをきかせる代田の大人形(別称:ダイダラボッチ)。

天明の大飢饉の後、疫病などの災厄が集落に侵入しないように、藁製の大きな人形を村境に立てるようになったのが始まりと伝えられています。

大人形作りは、かつて代田を含め井関字梶和崎、古酒、長者峰、八木、三村字御前山の6つの集落で行われていましたが、後継者不足や材料不足などの理由により、昨年は代田と長者峰の2集落のみとなりました。このようなことから、代田の大人形は現在に残る貴重な民俗行事として、平成16年3月に市指定無形民俗文化財に指定されました。

大人形は、1年を通して据え置かれ、翌年また同じ場所に作り替えられます。

### ダイダラボッチと 関川小学校の繋がり

関川小学校の門を入ると、まず目に入るのが昇降口の前に置かれたダイダラボッチ。

総合的な学習の時間等を使って郷土の歴史や文化を学ぶ「ふるさと学習」の授業に、平成30年度から、大人形制作が取り入れられています。

現在のものは昨年10月に、3・4年生が中心となって地域の大人たちに教わりながら作成したものです。



新



## 市長だより

「新しい生活様式」が始まりました。新型コロナウイルスで多くの皆さんが様々な不安や悩みをお抱えのことと心配しております。

市長として就任早々感染症予防対策に翻弄される日々ですが、今日の時点では市内に感染者はなく緊急事態宣言が解除されて少しずつ薄日が差してきた感があります。これからも緊張感をもってしっかりと予防対策、経済対策に取り組んでいきたいと思っております。

さて、石岡市役所では感染症予防のため2時間おきに館内放送が流れ、10分間窓を開けて密閉空間にならないよう「風通し」をしています。

人間関係も時間が経ち、繋がりが強くなっていくと、一方で息苦しくなったり、思ったことも言えなくなってしまうたり、大変窮屈なものになることがあります。

私は市役所の職場環境はもとより、市民の皆さんとの関係も常に「風通し」の良い関係であるべきだと考えています。市長として風通しの良い石岡市を目指したいと思います。

5月29日 晴れ

石岡市長 谷島洋司

### ダイダラちゃん

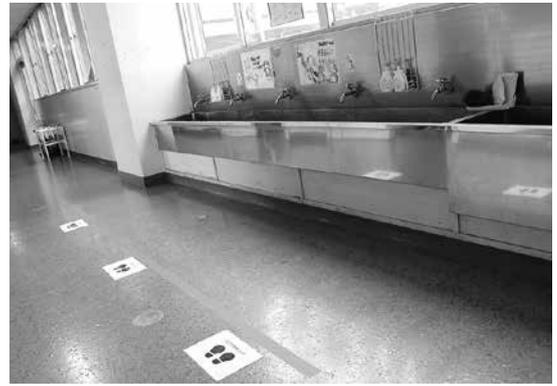
ふるさと学習が始まった当初に関川小学校の児童が先生と一緒に考案したダイダラボッチのキャラクターイラスト。校内の掲示物や学校からの配布物に登場します▶



▲関川小の児童をいつも見守るダイダラボッチ

# 6/1～ 市内小中学校 再開しました

☎教育総務課指導室 TEL 43-1111



6月1日から市内小中学校が再開しました。5日までは小学校週2日・中学校週3日で登校し、8日から通常登校となっています（6月10日現在）。

各学校、新型コロナウイルス感染症予防対策を行いながらのスタートとなりました。関川小学校では、登校したらまず昇降口で、先生による健康チェックが行われます。関川小学校の全校児童は33人。元々密の状態ではありませんでしたが、より意識づける

ために教室の床には机の位置を決めるためビニールテープで印をつけ対策。また、密になりそうな場所の床にも人との間隔を空けるための印がつけてあります。

「児童たちに少しずつでも新しい生活様式の習慣が身につけば」と宇津野校長先生。

マスク姿で登校した児童たちは、久しぶりの友達との再会を喜んでいました。

## 「新しい生活様式」での熱中症予防のポイント

新型コロナウイルスにより、感染防止の基本である身体的距離の確保、マスクの着用、手洗いや「3密（密集、密接、密閉）」を避けるなどの「新しい生活様式」が求められています。このような「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイントを紹介します。

### ①暑さを避けましょう

- ・換気扇や窓開放によって換気を確保しつつ、エアコンなどで部屋の温度を調整
- ・暑い日や暑い時間帯は無理をしない

### ②適宜マスクをはずしましょう

- ・屋外で人と十分な距離（2メートル以上）を確保できる場合は、マスクをはずす
- ・マスクを着用している時は、負荷のかかる作業や運動を避け、周囲の人との距離を十分に取り、マスクをはずして休憩を

### ③こまめに水分補給しましょう

- ・のどが渇く前に水分補給
- ・大量に汗をかいた場合は塩分も忘れずに

### ④日頃から健康管理をしましょう

- ・日頃から体温測定や健康チェックを
- ・体調不良の場合は無理せず自宅で療養を

### ⑤暑さに備えた体づくりをしましょう

- ・暑くなり始めの時期から適度に運動を
- ・「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる程度の運動を毎日30分程度行う